

A 内閣府の最新の教育政策資料には「一斉授業は限界」とあります。子ども目線で、子どもが主体的に学べるような教育政策が必要と考えるが、

①校内教育支援センターと別室登校との違いは。

②児童生徒成長支援室を拡充し、利用しやすくしては。

③ホームページスクーリングの現状は。

④フリースクールで出席認定されている人数は。

⑤国の教育予算について市長はどう評価しているのか。

A ①教室に入りづらくなった子どもの居場所としては共通していますが、校内教育支援センターでは、スタッフの充実を図ります。また、専門職による相談体制や保護者同士が語り合う場としてのつながりづくり、進学や就労など社会的自立を目指した助言や支援を行う未来づくりの機能を新たに設けたいと考えています。これらの機能を備えています。



Q 学校教育、正解主義からの脱却

太陽クラブ 櫻 直美

QRコード

一般質問

12月11日、12日、13日に19人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



A ①令和7年秋に滋賀県で2度目となる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催される。また、元旦健康マラソン大会に替わる新規マラソン大会が、令和6年度に開催される予定である。

市民にとって、スポーツ機運が高揚すると同時に、楽しく身体を動かし、健康寿命の延伸につながればと考えるが、

①国スポーツ・障害スポーツ開催の準備の進捗状況は。

②PRで機運を上げる方法は。

③イメージソング「シャイノ!!」を市役所庁舎内で流してはどうか。

④ボランティア募集をしているが、現在の登録者数は。

⑤新たなマラソン大会の開催の動きは。



Q 市民にスポーツ機運を

太陽クラブ 安田 高玄

QRコード

Q 本市の玄関口であるJR能登川駅を擁する能登川地区の公共交通網について、

①令和4年3月のJR西日本のダイヤ改正で能登川駅に停車する新快速が減便されたが、能登川駅の乗降客数に変化はあったか。

②新快速の減便は本市の発展にとり大きな痛手と思われるが、本市の見解は。

③これ以上のJRの減便はあってはならないが、対策は。

④ちよこっとバス大中線の利用者数が少ないよう思われるが時間帯ごとの乗車数は。

⑤ちよこっとバス大中線の運行についての収支比率は。

A ①新型コロナ感染拡大前の令和元年度と比較し、日に1,300人ほどの減少です。

②JR琵琶湖線新快速の減便は日常的に公共交通を利用している市



民や来訪される観光客の利便性を低下させ、本市の活力低下につながりかねないと危惧しています。

③毎年、滋賀県、県議会、市長会、市議会議長会、町村会、町村議長会の6団体の連名でダイヤの早期回復を要望を行っていたのですが、

④直近3か月の乗車データでは午前中が1便当たり約3人、午後が1便当たり約2人です。

⑤運行経費約1500万円に対し運賃收入は約120万円で、運行収支比率は8%です。

Q 公共交通の見直しは

太陽クラブ 辻 英幸

QRコード